

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 053	提案機関名 神奈川県畜産会
要望問題名 搾乳牛に対する交雑種の利用に関する検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年県内各地の平均気温が上昇、また、ホルスタイン種の大型化等により搾乳牛の主体であるホルスタイン種の暑熱による影響が問題となっている。また、国内外では搾乳牛に対し、雑種強勢を狙った育種が行われている事例が散見されてきた。そこで本県の気候風土、飼養管理に適合する新たな搾乳牛を作出するべく、交雑種の利用を検討されたい。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合)			
対応の内容等 雑種強勢を狙った育種が行われている事例が散見されてきていますが、暑熱に対する抵抗性については未知の部分が多いのが現状です。要望課題につきましては、県単独での成果を得ることは困難なため、国・独立行政法人に対し、取り組むべき課題として要望を行っているところです。これらの情報収集に努め、適宜情報提供していくことを考えています。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			

農研機構では委託プロ「家畜の生涯生産性向上のための育種手法の開発（H27～31年度）」において、乳牛の生涯生産性向上のための育種手法の開発研究が実施中であり、その中で生産性、繁殖性、抗病性形質に対する、耐暑性を含む飼養環境と遺伝的能力発現との関係について研究に取り組んでいる。